

里山花実の森 活動の柱



活動地で多く見られるササユリ

私たちは、卒業後ここしあわせの村に残るかつての里山だった村内の雑木林の手入れをしながら、里山の再生・整備を続けております。里山の目的も様変わりした今、私たちは次のようなことを目的に活動をしております。

【楽しめる自然を残そう】

放置林とするのではなく、手入れをし「自然を楽しめる憩いの場」「子どもたちに自然を体感してもらえる場」作りを目指し、そのための活動として下記の 2 項目を活動の柱としております。

活動の柱 その1

【里山としての整備と保全】

四季を通じて整備を続けることで、折々に変化する里山の姿を維持し、自然の景観が楽しめる場所づくりにつながります。

- ☆大径・高木化した樹木の伐採・間伐
- ☆広葉落葉樹を基本樹とした里山の維持育成とそれを阻む樹木の伐採
- ☆作業道・散策道の整備
- ☆希少植物（ここではササユリ・シュンラン・キンラン・エビネ・センブリ・オカトラノオ他）の保護・育成など

【活動主体は里山グループ】

活動の柱 その2

【整備された里山の利活用】

活動 1 により整備の進む里山を、カレッジや市内小学校の環境学習の場としての提供や、親子の自然環境体験の場として、楽しいイベントを企画し提供しております。

- ☆里山内の観察会（野鳥・昆虫・野草など）の実施
- ☆親子でカブトムシの生育観察
産卵場所づくりから幼虫・成虫までの生育観察と成虫飼育サポート
- 【活動主体は花実の森グループ】

活動事例の写真（1）（里山整備作業）



チェンソーによる伐倒作業



仮払機による下草刈り作業

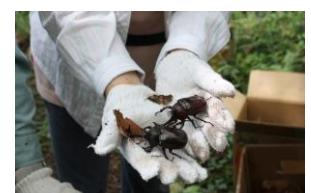


作業道・散策道の整備作業

草刈り鎌による下草刈り取り作業と希少植物の保護育成



活動事例の写真（2）【親子カブトムシ生育観察体験】 =産卵場所づくりから成虫探しまで=



イベントを企画・開催し、楽しく体感してもらうためには日頃の準備作業も大切な活動



子どもたちも手伝って作った産卵場所でわくわくの成虫探し！



見つけたカブト虫は自宅で飼育